

令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	鹿島市立浜小学校 児童数 129 人	担当者名	竹下 綾子
住所	郵便番号 849-1322 鹿島市浜町 1239 番地	電話番号	0954-62-2444

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	本で行ってみよう 新しい世界へ
	取組期間	令和4年 4月 7日 ~ 令和4年 11月 30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和4年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	147 人	実施日数	228 日	読書冊数	21,654 冊	連携した団体数	3 団体
	取組内容（概要）	<p>①SDGsのコーナー設置 「おすすめの本第2弾」として、「SDGsにふれてみよう！」として、最近身近になってきたSDGsについての本にふれる機会を作った。</p> <p>②6年間通してのファイリング（としょかんの旅→年2回、家族読書→年1回）</p> <p>③内容に目を向けた読書活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで読書（3年生以上、2週間に1回） ・貸出冊数だけでなく、きちんと読み切ることを大切に活動 <p>④色々な本と出会うイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書委員会のおすすめの本 ・POPコンテスト ・読書郵便 <p>⑤地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし母ちゃんず（月1回、朝の時間） ・PTA母親部による読み語り（11月、光の子集会） ・鹿島市民図書館からの貸出（巡回図書、団体貸出） <p>⑥各教科との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組みの掲示と関連蔵書の展示 ・英語の本の読み語り <p>⑦季節展示やコーナー、子どもたちとの環境整備による読書推進</p>						
工夫したこと	<p>①SDGsのコーナー設置 毎年取り組んでいる「おすすめの本30冊」の第2弾として、今年度は最近身近になっているSDGsに関連する本を読むことを目標にした。「SDGsにふれてみよう！」として、17の目標のうち、10の目標に絞り、各目標に対し2冊ずつ、計20冊読むことができたなら完読とした。この読書活動を通して、SDGsについて知ってもらい実践できる子どもを育てることに繋げていきたい。</p> <p>具体的な取り組みとしては、図書室に「SDGsにふれてみよう！」のコーナーを作り、目につきやすいようにした。また本には、表紙と背表紙に目標のアイコンを貼り、わかりやすいように工夫した。給食時間にSDGs紹介の放送を図書委員会で行っている。</p> <p>②6年間通してのファイリング</p>							

	<p>年2回の「としょかんの旅」、年1回の「家族読書」の記録を1冊の台紙にファイリングしていく。6年間の成長をみることができ、自分だけの本や家族との読書の記録ができる。「としょだより」に掲載することで、全校への紹介もした。</p> <p>③内容に目を向けた読書活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年3年生以上は、2週間に1度、朝の時間に「みんなで読書（みんな読）」として「おすすめの本30冊」からグループごとに1冊選んだ本で、感想交流を行っている。今年度は各学年30冊ずつ同じ本を購入し、初めてクラス全員で同じ本での感想交流を行った。全員で感想を共有することで、物語の見え方も増え、新たな目線で物語に触れることができる。 ・ 年間の貸出冊数が200冊以上になる児童もいる中で、貸出冊数は少ないが、ページ数の多い本に挑戦している児童もいる。読んだページ数の表が、内容重視の読書活動の手助けになっている。また、絵本から読み物への移行への手助けとして、貸出時の本の紹介やコーナーを作って目に入るようにしている。 <p>④色々な本と出会うイベント</p> <p>図書委員会のおすすめや、好きな本でのPOP作り、友達同士で送り合う読書郵便を通して、自分だけでは出会わないような本との出会いができるよう企画した。</p> <p>⑤地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回、朝の時間に地域の読み語り団体「お話かあちゃんず」による読み語りを実施してもらっている。自分では手に取らないような本に出会うきっかけになるので、コーナーを作り紹介をしている。 ・ 11月の光の子集会で、PTA 母親部に大型紙芝居の読み語りをしてもらった。 ・ 鹿島市民図書館との連携は、巡回図書（2ヶ月に1回、200冊）と授業等で利用する本の団体貸出がある。今年度から巡回図書の冊数が増えたので、全学年に本を置くことができるようになった。 <p>⑥各教科との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語の授業で行った調べ学習のまとめやPOPを図書室で本と一緒に展開した。また取り扱った著者の別の作品等を図書室でコーナーとして全校に紹介した。 ・ 英語の本の読み語りを11月にしてもらった。普段なかなか触れない英語の本と触れ合う機会を作ることができた。 <p>⑦季節展示・コーナー・環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 季節を感じる展示やコーナー作りを心がけた。コーナー作りは基本的に長期・短期のコーナーを設け、色々なジャンルの本を取り扱うようにした。環境整備や掲示は児童と行うことを増やし、図書室を一緒に作り上げるようにした。
<p>取り組んだ感想</p>	<p>「SDGs にふれてみよう！」を通して、安心・安全に暮らしていけるように今できることを考え、できることから始めることを知ることに繋げたい。</p> <p>また、同じ本ばかりでなく新しい本に出会うきっかけとして、各種イベントやコーナー作りを充実させた。「今年度もやりたい」と児童から要望もあり、11月からは「読書郵便」で、友達に本を薦める事の楽しさも広がっているように感じられる。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>これまで毎年続けてきている読書活動は、積み重ねができていっているのでこれからも続けて行きたい。今年度から新たに始めた「SDGs」の取り組みは、更に大切になっていくと思うので、引き続き理解を深める読書活動をしていきたい。地域との連携や児童と作る図書室を目指して、これからも読書の世界を広げる活動をしていきたい。</p>

①SDG s コーナー設置

・「おすすめの本第2弾 SDG s にふれてみよう！」
初めてSDG s にふれる児童も多いので、ふれてみることを目標に始めた。活動を通して、SDG s を知って、実践できる子どもを育てることに繋げていきたい。



SDG s コーナー



「SDG s にふれてみよう！」冊子

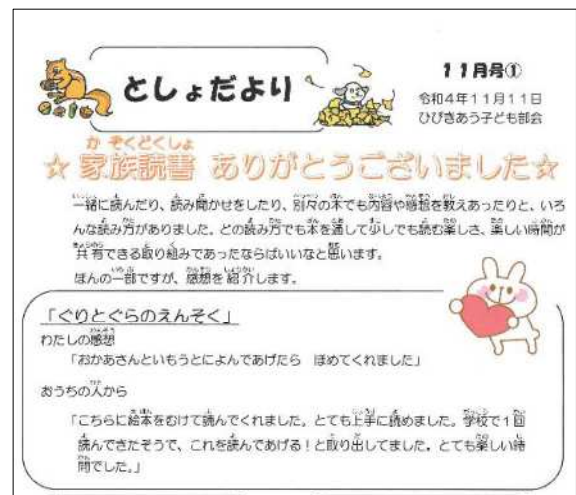
表紙と背表紙にアイコンを付けて、
わかりやすく配架



②6年間通してのファイリング



6年間使う冊子



家族読書を紹介したとしょだより

③内容に目を向けた読書活動



「みんなで読書」
みんなの前で感想発表中

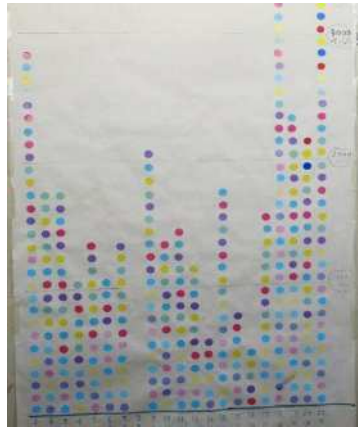


クラス全員同じ本で感想交流

3年生以上の「みんな
で読書」の様子
クラス全員で同じ
本での感想交流も
できた。自分とは違
う意見が聞けて、よ
り物語の見え方が
増えたと思う。



読んだページ数でシールを貼る
読書メーターの取組み



前年度より貸出冊数は減っているが、ページ数の多い本に挑戦する児童も増えてきている。
クラスではページ数に合わせてシールを貼る取り組みをしているクラスもある。

④色々な本と出会うイベント



図書委員おすすめの本コーナー



放送で紹介

図書委員が自分のおすすめの本を決めて、給食時間の放送で紹介した。長期コーナーをとって、目につきやすいようにした。



入賞者紹介掲示



POPと本と一緒に展示

「第2回浜小
POP コンテスト」

校長先生賞と図書委員賞を作り校内での入賞を決め、全作品を本と一緒に図書室内で展示。



児童が出した読書郵便

読書郵便は、毎日ポストに10枚くらい入っているので、図書委員会が配達する。

⑤地域との連携



お話かあちゃんず

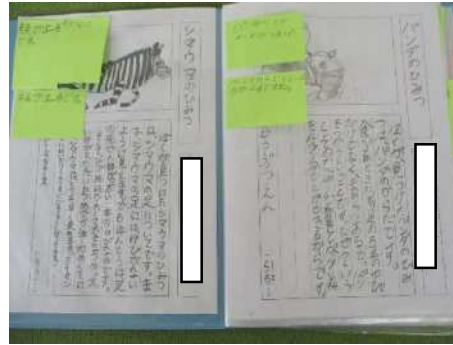


PTA母親部による読み語り

市民図書館からの
巡回図書
「みにみに図書館」



⑥各教科との連携



国語の授業での取り組みを図書室で本と一緒に展開

⑥季節展示、コーナー、環境整備

短期・長期コーナーの転換と児童との季節ごとの環境整備で
みんなでつくる図書室を意識した



英語の本の読み語り



短期：GWをたのしもう♪



長期：〇〇の秋



児童の
おりがみ作品コーナー